

第3回

市町村 考える シンポジウム 橋梁の 長寿命化を



“ふくしま発”

2014

9/17 (水)

13:00~16:50

開催
場所

日本大学工学部
ハットNE3階 大講堂

近年、東日本大震災の発生、高速道路トンネルの崩落事故といった背景から、橋をはじめとするインフラの老朽化が大きな社会問題となっています。この問題は、予算や人材が十分でない地方自治体ほど深刻であり、福島も例外ではありません。このような背景の下、福島県内の主として市町村で管理しているインフラの長寿命化策を考える「ふくしまインフラ長寿命化研究会（代表：日本大学工学部 岩城一郎）」が昨年4月に発足しました。産官学で構成される会員により、福島県内のインフラの現状を調査し、各地域の身の丈に合ったインフラ長寿命化策を提言、実践することを目的としています。

本会は、昨年9月27日に日本大学工学部で開催されたシンポジウムに続く第3回目になります。今回は、今年1月に発足しました東北大学インフラマネジメント研究センターの東北大学久田真教授に基調講演をお願いしました。また、久田先生に加え、一昨年の第1回より発言・提言をされているパネリストにもご参加いただき、この1年間の活動成果の発表とパネルディスカッションにおける議論を展開します。このように、過去2回で示された課題解決の進展とその検証を行うという点も本シンポジウムの特徴です。

【司会】日本大学准教授 子田康弘

挨拶 13:00-13:05

日本大学工学部教授 岩城一郎

基調講演 13:05-14:05

東北大学大学院教授

久田 真

「東北大学インフラマネジメント研究センターにおける自治体支援の取組」(仮題)

休憩 14:05-14:15

話題提供 14:15-15:35

北海道大学大学院工学研究院准教授

佐藤靖彦

日本大学工学部教授 岩城一郎

陸奥テクノロジー株式会社 高橋明彦

休憩 15:35-15:45

パネルディスカッション 15:45-16:45

コーディネーター：NHKエンタープライズ

平原由三枝

【パネリスト】

久田真、佐藤靖彦、岩城一郎、

高橋明彦

閉会挨拶 16:45-16:50

申込
方法

原則、E-mailにて、氏名、勤務先(所属、住所、電話番号)を記入の上、下記申込先へ送付ください。E-mailが使用できないなど、やむを得ない場合のみ裏面を利用し、FAXにて申し込みください。申込期限は9月16日です。なお、定員(200名)になり次第締め切りますのでお早めにお申し込みください。

申込
先

ふくしまインフラ長寿命化研究会事務局 担当：本田美智枝
E-mail: concrete@civil.ce.nihon-u.ac.jp, TEL&FAX: 024-956-8716

参加費
無料

“ふくしま発” 第3回 市町村桥梁の 長寿命化を考えるシンポジウム

開催日時 平成26年 **9月17日(水)**
13:00~16:50

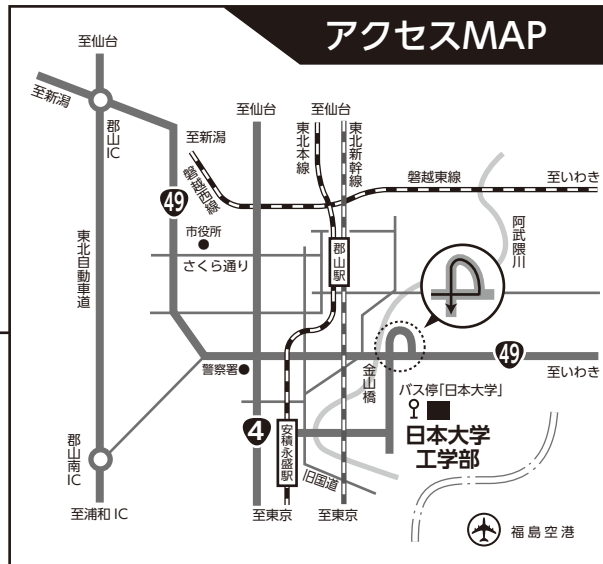
会場 **日本大学工学部**
ハットNE3階 大講堂

日本大学工学部

〒963-8642 福島県郡山市田村町徳定字中河原1

JR東北本線

- ① 郡山駅→日本大学下車(日大行バス 20分)
- ② 安積永盛駅下車(徒歩15分)



大学内 MAP



《お申込み欄》 枠内に必要事項をご記入ください。

参加者 氏名 (複数名 記入可)			
勤務先			所属
住所			TEL

問合せ先

ふくしまインフラ長寿命化研究会 担当：本田美智枝
E-mail : concrete@civil.ce.nihon-u.ac.jp